慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	グリセリン処理した兎骨格筋線維に対するTn-Iの作用について
Sub Title	
Author	中山, 雪麿(Nakayama, Yukimaro) 山口, 正弘(Yamaguchi, Masahiro) 青木, 裕美(Aoki, Hiromi) 渡辺, 和子(Watanabe, Kazuko)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1987
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.32 (1987.) ,p.119- 119
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000032-0128

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

蛋白分解作用を有していないトロポニン複合体から調製した Tn-I であり，Tn-T の付加で完全に失活することから，単離した Tn-I それ自身に蛋白分解作用を有している可能性が示唆される。

1) 中山雪麿ら 第64回日本生理学会（1987）
* 日本大学理工学部，生物学
** 順天堂大学体育学部，栄養生化学

グリセリン処理した兎骨格筋線維に対する Tn-I の作用について

中山雪麿，山口正弘*，青木裕美，渡辺和子**

〔第64回 日本生理学会（1987年4月，千葉）で発表〕

Ca^{2+} 制御蛋白のひとつであるトロポニン-I(Tn-I) を，家兎背筋から単離し，その収縮抑制作用について検討した。先ず，グリセリン筋を直径 0.2～0.5 mm の細い筋線維束に裂き，これを 0°C の環境下で A 緩衝液に入れ，24～48 時間処理した。この時，Tn-I を加えた A 液と，加えない A 液で Tn-I の作用を比較した。その結果，0.1 mg/ml の Tn-I を加えた A 液のグリセリン筋は，その発生張力の潜伏時間，張力発生速度，最大張力が，いずれも Tn-I を加えないものと比較して抑制されていることが分った。さらに，A 液中に 26 K, 28 K dalton のペプチドが溶出していることも分った。しかし，両ペプチドは Tn-I と Tn-T が共存している環境下では溶出してこなかった。また，筋肉から単離した HMM (Heavy meromyosin) に Tn-I を作用させた場合にも 26 K, 28 K dalton のペプチドが溶出していることから，両ペプチドがミオシン頭部から由来し，しかもそれが，Tn-I の蛋白分解作用によって切り離されたものであることが推測された。そして，この Tn-I の作用は，Tn-T によって完全に不活性化されることも明らかになった。

* 順天堂大学体育学部，栄養生化学
** 日本大学理工学部，生物学

陰イオン交換カラムを使用した HPLC 法による Iso-Metallothionein の分析

鈴木純子，利根川和江，山下茂子，小林静子

〔日本薬学会 第107年会（1987年4月，京都）で発表〕

〔**目的**〕 私達は，重金属によって誘導されたあるいは胎児肝に分布しているメタロチオネイン (MT) の iso-MT の分離とその定量について検討したの報告する。

〔**方法**〕 Sephadex G-75 によるマウスおよびラット肝 Cd- あるいは Zn-MT 画分，sarcoma S 180 A および FM 3 A 細胞で誘導合成された Zn-MT 画分，マウスおよびラット肝 Zn,Cu-MT